

平成24年5月31日
水産庁

水産物の市況について（平成24年5月及び6月）

—東京都中央卸売市場における平成24年5月（平成24年4月21日～5月20日集計）の市況と、
平成24年6月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成23年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べやや減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや弱含みに推移しました。

II 平成23年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、旬を迎えることから、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は犬吠埼・房総海岸・山陰海岸、サイズは中羽。）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物トキサケがやや増加するものの、全体では、冷凍原料、製品ともに前月よりやや減少すると見込まれ、卸売価格は大きな変化はなく、横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、魚体が小さいことや需要期でないことから、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は端境期を脱し、大幅な増加が見込まれ、卸売価格は弱含みに推移すると見込まれます。（日本海の漁場は能登半島が主体。）

「あじ（生鮮品）」

入荷量はやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸、九州西方海域。盛漁期を迎え順調な水揚げが続いている。）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は赤身類はやや弱含み、脂身類は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月並と見込まれ、まき網主体の水揚げということもあり、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（魚体は特大が少なくなり、大～小型まで幅広い。）

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	5 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
24年	41	810	46	846	39	831
前年	48	835	50	793	51	806

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	5 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	275	80	41	54
さけ・ます(平均)	599	95	83	97
(ぎんざけ塩蔵品)	592	93	76	88
(あきさけ塩蔵品)	442	100	79	95
(ときさけ塩蔵品)	789	99	101	102
(べにざけ塩蔵品)	737	87	86	88
(さけ類冷凍品)	582	100	85	99
さば(生鮮品)	332	91	85	89
するめいか(平均)	473	111	92	96
(生鮮品)	657	96	98	102
(冷凍品)	370	100	90	107
あじ(生鮮品)	568	91	119	114
まぐろ(冷凍品)	1,519	104	100	107
(めばち冷凍品)	1,007	98	94	105
(きはだ冷凍品)	895	97	92	104
(くろまぐろ冷凍品)	4,410	110	125	123
(みなみまぐろ冷凍品)	2,580	106	108	108
かつお(生鮮品)	813	77	94	73

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:5月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成18年～22年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 杉田、庄田、安井
直通 03-3591-5612